

三条市の  
「今」と「これから」を  
お伝えします

2月

11月

5月

8月

2.1

2014/H26  
No.11



4月に開校する  
三条市立第一中学校・嵐南小学校



12月21日に行われた竣工式

市議会だより  
さんじょう



天井が開閉式、床が上下する室内プール



小・中が共同で利用する体育館



メディアセンター(図書館)

## 主な内容

《平成25年12月定例会(12月3日~17日)》

●議案賛否一覧 P2

《市政を問う》

●質疑・大綱質疑 P4

●一般質問 P7

●常任委員会審査レポート P13

《ぎいん見聞録》

●行政視察 P14

議会を傍聴  
しませんか？

次の定例会の開催予定は

3/3月~

議会だよりへのご意見・ご要望は、こちらまで。

電話:0256-34-5511(内線347) FAX:0256-33-8861

メール:gikaij@city.sanjo.niigata.jp

パソコンでも情報発信中!

三条市議会

検索

# 12月 定例会

平成25年第4回

大崎中学校改築事業を実施するための  
新市建設計画の変更や平成25年度三条  
市一般会計補正予算など

## 全議案原案のとおり決定

12月定例会は、12月3日から17日までの15日間にわたって開かれました。市長の提出議案は、「人権擁護委員候補者の推薦」の人事案件、「三条市職員の給与に関する条例の一部改正」などの条例案件、「三条市立大崎児童館」など指定管理者の指定案件、平成26年度までの新市建設計画の期間を大崎中学校改築事業を実施するため平成29年度までとする新市建設計画の変更、第二中学校区小中一体校体育館の改築事業費の増額や森町小学校と荒沢小学校の統合に要する経費などを盛り込んだ「平成25年度三条市一般会計補正予算」約4億6700万円などが20件が上程されました。採決の結果、すべて原案のとおり可決、同意されました。

議案	番号	件名	概要	会派名 (下段は所属議員数)					議決結果	
				自由クラブ	新政クラブ	新しい風	清流	日本共産党議員団		公明党議員団
予算	議第14号	平成25年度三条市一般会計補正予算	第二中学校区小中一体校体育館改築事業費の追加 補正額 2,955万3,000円 補正後の額 465億1,978万7,000円	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議第15号	平成25年度三条市一般会計補正予算	小学校施設整備費、学校給食調理場整備費等の追加 補正額 4億3,773万5,000円 補正後の額 469億5,752万2,000円	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議第16号	平成25年度三条市国民健康保険事業特別会計補正予算	一般会計からの繰入額の確定に伴う財源更正 補正額 0円 補正後の額 107億7,974万4,000円	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議第17号	平成25年度三条市農業集落排水事業特別会計補正予算	電気料金の値上げに伴い不足する電気使用料の追加 補正額 281万2,000円 補正後の額 6億6,611万2,000円	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議第18号	平成25年度三条市公共下水道事業特別会計補正予算	電気料金の値上げに伴い不足する電気使用料の追加 補正額 87万円 補正後の額 29億1,767万円	○	○	○	○	○	○	原案可決
その他	議第19号	新市建設計画の変更について	平成26年度から平成29年度までの間に大崎中学校改築事業を実施するに当たり、合併特例債の活用が最も効果的であることから、市町村の合併の特例に関する法律(昭和40年法律第6号)の規定により、新市建設計画を変更するもの	○	○	○	○	○	○	原案可決
人事	諮第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員外山由子さん、原田幸雄さん、西山厚子さん、および原泰雄さんは、平成26年3月31日をもって任期満了するため、その後任委員候補者として、外山由子さん、原田幸雄さん、西山厚子さん、および原泰雄さんを推薦するもの	○	○	○	○	○	○	同意

※1 高坂登志郎議員は賛成、西川哲司議員、島田伸子議員、鶴巻俊樹議員は反対



### 会派所属議員

自由クラブ	○久住 久俊 武石 栄二	下村 喜作 梶 勉	佐藤 和雄 吉田進一郎	阿部銀次郎 森山 昭	熊倉 均 土田 俊人
新政クラブ	○高坂登志郎	西川 哲司	島田 伸子	鶴巻 俊樹	
新しい風	○杉井 旬	岡田 竜一	藤田 博史	名古屋 豊	
清流	○西川 重則	横山 一雄	佐藤 宗司	山田 富義	
日本共産党議員団	○小林 誠	武藤 元美			
公明党議員団	○野崎 正志	笹川 信子			

※○：会派の代表者

### 議案賛否一覧表

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対

議案	番号	件名	概要	会派名 (下段は所属議員数)					議決結果	
				自由クラブ	新政クラブ	新しい風	清流	日本共産党議員団		公明党議員団
(市長提出)										
条例	議第1号	三条市職員の給与に関する条例の一部改正について	定年退職する職員で再任用を希望する者を再任用職員として登用することから、その適切な登用を目的として、職務を整理するほか給料月額を定めるなど必要な改正を行うもの 施行期日：平成26年4月1日等	○	※1	○	○	×	○	原案可決
	議第2号	三条市営住宅条例の一部改正について	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部改正により、生活の本拠を共にする交際をする関係にある相手からの暴力を受けた者を市営住宅の優先入居基準に加えるなど必要な改正を行うもの 施行期日：平成26年1月3日	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議第3号	三条市勤労者福祉共済条例の一部改正について	三条市勤労者福祉共済制度の安定した運営および子育て世代に対するさらなる福祉の増進を図るため、加入資格および給付内容について必要な改正を行うもの 施行期日：平成26年4月1日	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議第4号	三条市都市公園条例の一部改正について	観光資源の情報提供により、地域間交流の促進を図るとともに、水害に対する防災意識の啓発を図るため、三条市かわまち交流拠点施設を都市公園として設置することから必要な改正を行うもの 施行期日：規則で定める日	○	○	○	○	○	○	原案可決
その他	議第5号	三条市立大崎児童館の指定管理者の指定について	三条市立大崎児童館の指定管理者として、社会福祉法人報徳福祉会を指定するもの 指定の期間：平成26年4月1日から平成31年3月31日まで	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議第6号	三条市立松ノ木児童館の指定管理者の指定について	三条市立松ノ木児童館の指定管理者として、社会福祉法人報徳福祉会を指定するもの 指定の期間：平成26年4月1日から平成31年3月31日まで	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議第7号	三条市槻の森斎苑の指定管理者の指定について	三条市槻の森斎苑の指定管理者として、マルソー株式会社を指定するもの 指定の期間：平成26年4月1日から平成31年3月31日まで	○	○	○	○	○	○	原案可決
その他	議第8号	三条鍛冶道場の指定管理者の指定について	三条鍛冶道場の指定管理者として、越後三条鍛冶集団を指定するもの 指定の期間：平成26年4月1日から平成31年3月31日まで	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議第9号	三条市勤労青少年ホームの指定管理者の指定について	三条市勤労青少年ホームの指定管理者として、一般社団法人新潟県労働者福祉協議会を指定するもの 指定の期間：平成26年4月1日から平成31年3月31日まで	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議第10号	三条市農業体験交流センターの指定管理者の指定について	三条市農業体験交流センターの指定管理者として、サンファーム運営グループを指定するもの 指定の期間：平成26年4月1日から平成31年3月31日まで	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議第11号	保内公園の指定管理者の指定について	保内公園の指定管理者として、保内緑の里管理組合を指定するもの 指定の期間：平成26年4月1日から平成31年3月31日まで	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議第12号	三条市リージョンセンターの指定管理者の指定について	三条市リージョンセンターの指定管理者として、小柳建設株式会社を指定するもの 指定の期間：平成26年4月1日から平成31年3月31日まで	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議第13号	字の変更について	県営農地環境整備事業の施行に伴い、当市の区域内の字名を変更するもの 施行期日：土地改良法第54条第4項の規定による換地処分公告があった日の翌日	○	○	○	○	○	○	原案可決

3ページへ続く

市政の  
?を  
問いました

12月  
定例会

# 質疑

# 大綱質疑



組織人である以上大きな問題が生じることはないと考えている。

再任用の希望の結果と期限付任用職員、新規採用職員などを見た中で調整する。

民間の雇用情勢が厳しい状況であることは認識している。市内の複数企業について調査した。再任用職員の給与月額については、そうした市内企業の現状も十分認識しつつ検討を加えてきたものでご理解をいただきたい。

また、新たな給与表の変更により、給与に差が生まれることはあるのか。初めてやることなので、現段階ではわからないが、これから希望者は多くないと見込んでいます。また、給与の差は理論的にあり得る。

### ■議第1号

**問** 若者の雇用もままならない中で、再任用の合理性の是非も聞こえてくる。どのような基本的な考え方でこの制度を運用していくのか。

**答** 市民の生命、財産に直接影響する消防職の再任用は、消防司令以下の職員については6年後からの適用となり、今後具体的な検討を進めていく。

### ■議第2号

**問** 配偶者暴力防止法に基づく支援のための改正であるが、入居者情報の漏えい対策はどのように行うのか。

**答** これまでも入居に関する情報は適正に管理してきたが、被害者の安全性の確保を最優先するため入居者の情報照会には一切応じない。

### ■議第3号

**問** 給付内容が変わることで財政的にどうか。

**答** DVには三条市、新潟県、警察と連携を取りながら入居者の安全確保に努める。24年度の相談件数は43件、一時保護は2件であった。

### ■議第4号

**問** 2回も入札が不調になっていく。予定価格の抜本的な見直しに取り組みの必要性についてどのように考えるか。

**答** 国土交通省大臣官房の官庁営繕部が監修している公共建築工事積算基準に基づき積算した設計額を基に地域の実勢等を加味し、予定価格を決定していることから見直しについては難しいと思っている。

### ■議第5号から議第12号

**問** 非公募の施設は指定管理者が継続されたが、評価はどうだったのか。今後、評価が低かった場合は直営に戻すこともあるのか。

**答** 非公募の4施設は、評価が一定基準以上である。今後、総合評価が指定管理者としてふさわしくない場合は公募、直営を考える。

### ■議第10号

**問** 今まで備品が使用できないなど管理運営の苦情があったが大丈夫か。

**答** 施設の備品等の利用に対する利用者への要望、意見等を反映させるため、市と指定管理者の定期的な打ち合わせでサービス向上に努める。

### ■議第14号

**問** 今後の入札について、予定価格の1割以内の場合価格交渉を行うことになるが、最低価格の業者が応じない場合や応札者がいなかった場合の対応はどのようにするのか。

**答** 価格の折り合いがつかない場合は価格交渉を打ち切り、再公告することになる。また、入札において応札者がいなかった場合は、入札参加条件や設計を変更するといった措置を講じながら再公告していくことになると思う。

### ■議第15号

**問** 井栗学校給食共同調理場の備品入れ替えとのことだが、同調理場の建物の老朽化は問題ないのか。

**答** 32年経過した建物であるが、業務に支障を来すほどの老朽化には至っていない。今後も改修等を行うなど、適正に施設管理を行っていく。

### ■議第19号

**問** 大崎中学校の改築事業を新市建設計画に含めるため、計画期間を平成29年度まで3年間延長するもの。大崎中学校改築事業に約49億円を見込み、ほぼ新市建設計画の事業が決まった。

**答** 保育所の措置児童数の減により保育士4人、調理師1人の減。また、児童クラブの利用者数の減により、児童クラブ主任指導員3人の減である。それぞれ運営に影響はない。

### ■議第1号

**問** 8月に電気と機械設備の請負業者が決まっている。この消費税の取り扱いはどうなるのか。

**答** 9月30日までの間に締結した工事に係る契約については、消費税5%が適用される。



耐震診断の結果、移転改築が決まった大崎中学校

# 討論

※1

議第1号三条市職員の給与に関する条例の一部改正について

労働基本権が制約されている公務労働者が無権利状態となつてしまふ憲法第25条に抵触する。

これまでの給与条例改正案は、人事院勧告制度を遵守してきたが、地方公務員法第24条の「職員の給与は、生計費並びに国及び他の地方公共団体の職員並びに民間事業の従事者の給与その他の事情を考慮して定められなければならない」の規定と全く異なる内容であること。今回三条市が改正する条例案は、全国のどこにも存在しない内容であること。

議会承認によって、三条市当局と職員組合の労使関係が最悪の状況となつてしまふ、労使がこれまで締結してきた労働基準法第36条に規定される労働協約が破棄されることが想定され、三条市行政に支障を来す恐れがある。

また、組合側と労使の係争なども想定される。労使の話し合いがついた段階で議会提案するべきであり、よつて反対する。

自由クラブ  
議第1号三条市職員の給与に関する条例の一部改正について

基礎年金は、65歳から支給という時代が現実になった。現在民間の定年後の雇用・賃金体系は、大企業を先頭に徐々に整いつつあり、給与は減つても定年後再雇用され、基本的には65歳まで働くことができるという方向が国民的合意を得られつつある。

こういう情勢の中で、本提案の趣旨は職場の実情に即するよう三条市職員の定年後の再雇用に関して、既にある部長や係長、主事といった再任用時の職務に応じた給料月額に加え、新たに期限付任用職員相当の職務を担う再任用職員の給料月額を定めるといふものである。組織活性化の観点から若年者の雇用への影響や市内企業の現状にも配慮されていることは、大綱質疑および総務文教常任委員会での質疑において確認した。有能な三条市職員が第一線から退いた後も、これまでの経験を生かし、元氣よく三条市民のために働き続けることができるように条例を整備する本提案は誠に時宜を得たもので賛成する。

日本共産党議員団

議第1号三条市職員の給与に関する条例の一部改正について

これは「高齢者雇用安定法」が2004年に年金改悪とセットで改正されたことにより、年金支給開始年齢の引き上げに際して65歳まで働き続けられるように、①定年の延長②継続雇用制度の導入③定年制の廃止のいずれかを導入するよう企業主に義務付けたことから整備されたものである。

そもそも年金保険料の際限のない値上げや給付削減、支給開始年齢の先送りなど、年金制度の連続改悪が強行されたことが根幹問題である。

日本共産党は、社会保障の充実整備こそ必要と考えているが法律が通り、現実問題として雇用と年金の接続について平成25年度以降、年金支給開始年齢の段階的引き上げに伴い、定年後に「無年金・無収入」とならないための対策は官民を問わず社会的に大きな問題である。

組合との交渉は5回行ったが、意見の一致は見られず今回の提案に至つた。公務員は権利が制限されているわけで、職員の思いを代弁する組合との合意を得てから議案提出とすべきだと考え、反対する。

※1【討論】提出議案や請願などについて、賛成・反対意見を表明することについて。

市政の  
?を  
問いました

## 一般質問

ダイジェスト

議員と行政のQ&A

子どもの医療費助成 県内最低！

問 市の人口減が進む中、子どもの人数で差をつける制度を改め、1人からでも安心して受けられる医療制度にしてはどうか。

答 市町村がサービス合戦をするということは未来永劫、数千万円の一一般財源を放出し続けることだ。本来国が制度設計を実施すべきだ。(市としてはやらない)

介護保険 要支援者はずい！

問 国は介護保険から要支援者を外し、市町村任せの地域支援事業に移す計画だ。訪問・通所介護は重度化を抑制する大事な事業で、サービスを低下させてはならない。第6期の計画との関連はどうか。

答 第6期の計画策定で、利用者に混乱を生じさせないよう慎重に検討する。

南小跡地の避難所どうなる？

問 一中学区の避難所の減少で、南小の許容想定はどれくらいか。また、グラウンド南側(住宅街側)に避難通路が必要ではないか。

答 避難所の見直しを行い、民間施設を緊急時避難施設として指定する。南側進入路は検討する。

市長のブログ 問題では？

問 市長のブログで教育委員会割愛組と名指しで批判。その真意は。

答 ブログは恣意的に書いている。

農業問題について

問 40年以上続いた減反政策が5年後に廃止されることが現実になった。特色ある産地づくりに向けてどのような対策を取るのか。市長は減反廃止に

賛成の意向を示されたが、その真意は何か。

答 減反廃止の方向は賛成の立場であり、今後は所得補償を併せて検討していく。飼料米などの作物への転換は、制度がどのような形になるのか見極めて対応したい。

公共下水道事業について

問 栄処理区の認可、事業が遅れているが今後の見通しはどうか。

答 栄処理区の事業は、平成7年度から実施している。遅れていることは承知しているが、財源が限られており今後着実に進めていきたい。

栄スマートインターチェンジについて



栄スマートインターチェンジ

問 アクセス路としての仮称県央南部線の整備構想について、その後の進捗状況はどうか。

答 必要性は認識している。事業実績をつ

来年度予算編成について

問 来年度消費税率引き上げに伴い市内の個人や小規模事業者は、厳しい経営状況になると思われる。新エネルギー設備導入や設備費に補助金制度を創設してはどうか。

答 三条市では、産業振興の設備導入については融資制度の活用から始めさせていた。公共分野において新たな施設整備を進める中で、新エネルギーを導入する可能性を探りながら施策展開を進めていきたい。

問 高齢者や子供たちが安全で安心して歩けるような道路や歩道整備の予算を増額してはどうか。

答 スマートワークルネス三条を軸とする三条小学校区を中心とした、高齢の方々が少しでも外出する機会を促す施策展開をする。また、来年度さらに踏み込んでやっていきたいと思っている。

問 一ノ木戸小学校は移転して1年以上経過している。通学路の市道興野新光線の拡幅工事の進捗状況はどうなっているか。

答 現在用地交渉を進めている。安心な通学路の早期完成のために地権者のご理解・ご協力を得られるよう努力している。信号待ちの滞留所を今年度設置し、整備を進めていく。



工事中の市道興野新光線

TPPと減反廃止の市長見解

問 両方とも賛成するとの報道に多くの声がある。全体の意見状況をどう聞いた判断なのか。その後の展望をどう描いているのか。地域農業のために責任ある役割をどう果たしていく考えか。飼料米増産の試算モデルをどう見ているのか。

答 報道の後には厳しいご意見も聞いている。農家の皆さまと十分な話をしており、不安の声も多いがさりとて現状維持だけでは長期展望が持てる羅針盤の方向は見いだせない。供給サイドのコントロールだけで米価は維持できなくなっている。流通の多様化、グローバル化が進みマーケットが変化している状況なので、競争原理を前提にしながら価格競争を脱却した付加価値を求める方向感が必要になっている。国策を前提にしながらもサブシステムとしての地域農政の役

JR東三条駅南北自由通路の設置について

問 南北自由通路の必要性についてどのようにお考えか。

答 南北自由通路は、駅前広場の整備に併せて行うことで事業効果が発揮されるものと認識している。今の段階においては、財政見直し等を考える上での長期的な検討課題にならざるを得ない状況である。



東三条駅

市長の議会対応、答弁の基本姿勢について

問 最近の市長答弁は聞いてもいないことを答弁されたり、思い込みの答弁であったり、質問者によって答弁時の姿勢や丁寧さが違うように感じてならない。どのような基本姿勢で臨んでいるのか。

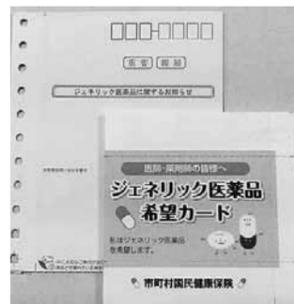
答 二元代表制として一番は意見交換を公式な場ですることであり、大切

割を果たしていきたい。セーフティネットとしての補助金政策については、国にも意見を言っていきたい。飼料米増産モデルはまだ全体像がつかまびらかではないが、正面から検討していかなければならないと考えている。

レセプトの活用で医療費の適正化を

問 データヘルス計画の認識はどうか。レセプトのデータは有効活用する。健診後の未受診者に保健師や看護師による個別の受診勧奨をしている。

答 ジェネリック医薬品の効果はどうか。ジェネリック医薬品カードを送付している。25年2月の差額通知後の3カ月の保険者負担7割相当分では、合計で143万5000円の効果が



送付されている希望カード

アベノミクスと地域活性化について

問 三条市の景気動向と実態はどうか。24年の8月に踊り場局面を迎え、一進一退の状況から堅調な回復傾向にあ

な場がこの本会議であると思っ

国保税について

問 この3年間で、所得200万円の4人家族で6万3800円、約2割も国保税が増加した。値上げはもう限界。加入者だけに負担を押し付けるのか。

答 平成27年度までに赤字解消を図る。努力の範囲は、国の特別調整交付金を確実に取ってくることを認識して

公共施設利用料について

問 利用料の負担を気にせず練習できる環境づくりが、スポーツ都市宣言をしている三条市のやるべきことではないか。

答 減免基準の趣旨を理解してもらえよう丁寧に対応する。

高校生通学ライナーバスについて

問 現在、朝1便、夕方2便の運行だが、利用者が少ない。保護者から時間が合わないとの指摘がある。実態調査し検討すべきか。

答 今後、部活動等を調査し検討したい。

新一般廃棄物最終処分場について

問 新一般廃棄物最終処分場建設の今後

る。

問 公共施設の老朽化対策はどうか。新経営戦略プログラムの策定時に全ての公共施設の建築年次、維持管理経費を施設台帳としてまとめたい。今後は予防保全的な管理を行い、長寿命化を図る。

問 農工商連携による6次産業化の取り組みはどうか。

答 燕三条「畑の朝カフェ」やイタリヤ野菜研究会を代表事例としながら、新たな形を加えて市場に打って出る方を支援する。農業活性化プランに基づく農業担い手育成事業等による支援策を引き続き行っていく。

農政について

問 政府が2018年をめどに米の生産調整を廃止する方向で検討していることについて、新潟日報社のアンケート調査に市長は、条件付きで賛成と回答されたが、この判断をするのに農家および農業団体の意見を聞かれたのか、それとも自分の考えとしたのか。農家の気持ちを考えて、例えば賛成であったとしても保留とす



垂れ下がる稲穂

答 の進め方と施設の安全性はどうか。地元の集会所へ説明に呼んでいただきたいと話をしている。

答 施設は屋根で雨・雪を遮断。処理水は、場外に放流せず施設内で完全循環するため安全だ。

「人口減少とまちづくり」について

問 社会減抑制のために、高齢化の著しい地域の用途地域を見直したらどうか。

答 来年度、三条市総合計画の見直しをする。その中で検討する分野の粗上

社会教育と学校教育の連携について

問 機構改革をして6年目。生涯学習課を市長部局に移した具体の効果は何か。

答 機動的に活動ができる領域を広めてきている。

「番星」について

問 市長発言の「一番星を育てる施策展開」とはどういうものなのか。

答 スポーツ、文化芸術、学習の各分野で中高生を対象に、優れた指導者による育成支援をしていくもの。

指揮命令系統を乱しているのは市長本人！

答 この手の質問は、他の人と相談して回答したことなど一度もない。セーフティネットを張らなければ生産調整を続けようとして続けまいと、これからの農家にとって持続可能性は無いのではないかと。先ながら今後進めていきたい。

土木行政について

問 水道路工事の今年度の実施状況はどうか。来年度の予算はどうか。

答 自治会の要望に対して十分配慮されないが、財政状況の中で重点化を図りながら今後進めていきたい。

農振除外について

問 権限者でありながら無に等しい権限について、今後の見直しはどうか。内閣府の地方分権改革有識者会議の農地関係の専門部会に、農振除外における県知事同意の撤廃をお願いし上げた。

インキュベーション機能を持ったものづくり拠点の設置について

問 設置に向けた検討はどのようになっているのか。

答 具体的な施設の内容としては、クリエイターの創業を支援するインキュベーションスペースや、地域の方々が自由に活動できる地域活動スペースの設置を想定している。具体的イメー

10月22日の三条市長日記に書かれて

いることは威圧的、脅迫、ネット上のいじめ、権力の乱用のパワハラだ。市長はこのブログのどこが問題かと言われたが、どこが問題かを理解できない市長自身が問題。市役所内部で解決すべきことを自分の思うようにいかないからといって感情に任せて書かれている。誰もが見られるネットを使って、まして教育委員会事務局の職員をターゲットにして意識的に書いていることは悪質ないじめだ。ネット上のいじめ、パワハラは認識はあるのか。トップがこのようなことをやって組織運営がうまくいくと考えているのか。教育委員会事務局の指揮・監督は教育長。事務局職員に問題があれば教育長に言うことが組織としてのルール。事務局職員をブログでたたくことは、指揮命令系統を乱すことになるという認識はあったのか。



????????????

答 我ながらよくできている文章だと思う。パワハラとは思わない。ブログを見て職員の中でおかしいと思うのは覚悟が足りないと思う。指揮命令系統を乱したとは思っていない。

### 布施谷川・新川排水路及び具喰川 内水氾濫対策検討会について

**問** 具喰川流域の最終提言と見直しはどうか。

**答** 今後若干の修正を加えながら本年度中に取りまとめ、一日も早い事業化を望んでいる。排水ポンプの増強は平成27年度中の完成が目標。済生会病院隣接の逆流防止樋門から刈谷田川右岸分岐点間の無水区間の活用方法は、今後設置する連絡会議で検討する。

### 家族介護者に対する直接支援の拡充について

**問** 精神的負担や肉体的疲労を伴う介護者の慰労と生活支援を図ることから、現行の月額5000円を大幅に拡充する考えはないか。

**答** 要介護者数も増加傾向にあり、財政状況や福祉制度全体を考慮した中で理解いただきたい。

### 官民格差について

**問** 時間外手当年額約28.5万円、月額23万円余になる。期限付任用職員月額16万円程、市役所内での格差。民間の非正規労働者においては年平均値16.8万円との調査もある。不公平感を解消する考えはどうか。

**答** 給料、単価は職務責任や仕事の複雑さ、困難の度合いなどで定めており妥当なものである。時間外の多くは

災害復旧関連である。

### 認知症高齢者をどう支える

**問** 認知症高齢者が増えているが、どのような対策を考えているか。

**答** 平成24年3月に認知症高齢者等支援の推進に係る基本方針を定め、認知症に関する普及啓発や各地域包括支援センターと連携を図りながら、認知症高齢者等を地域全体で支えるまちづくりを目指して取り組みをしている。認知症の人を理解し、支援していただく認知症サポーター養成講座を開催し、5538人もの方々から受講してもらった。



認知症サポーター養成講座

**問** 訪問介護と通所介護を市町村の事業へと移行する方向で制度改正がなされるようだが、市の考えはどうか。

**答** 介護予防給付事業から地域支援事業への移行については、国でより詳細な制度設計づくりが行われている。全

**問** 新保裏館線の進捗率は今年度末で80%を予定。今後はJR施工の跨道橋と市施工の擁壁工事を並行して行い、平成27年度末までの完成を目指す。田島曲淵線の未着工区間は、財政状況や交通量を踏まえて着手時期を検討する。

### 工場の祭典の成果と課題について



来場者も興味津々

**問** 先般開催した「工場の祭典」の評価と今後の課題は何か。

**答** 来場者は5日間で約1万人。うち4割が県外からのお客様で、製品売り上げ、飲食、宿泊、バイヤーとの成約や工場への就職など想定外の成果も上がった。来年度は工場見学ノウハウの共有化を図り、お客様からいただいた指摘も反映させる。

### アベノミクス効果、実感まだ!?

**問** 安倍政権の経済再生政策の市内産業

国市長会を挙げて利用者が継続して同様のサービスを受けられるよう市町村の実情を踏まえた国の支援と財政措置を講じるよう提言を行った。三条市では、26年からの第6期介護保険事業計画策定に向けて準備を進めている。国の見直しの動きを注視し、計画策定の中で慎重に検討を加え、混乱を生じさせないよう適切に対応する。

### 清掃センターにおける業務の民間委託について



清掃センター

**問** 運転業務は市の職員が監視する体制になっていたか。また、要求水準書通りの人員配置か。ごみ破砕機内部を写すモニターはなぜ最初から設置しなかったのか。安易に経済優先で行ったのではないか。

**答** 清掃センターは適切に管理し人員配置は契約通り。また、モニターを設置しなかったのは設置業者が決めた。

### への波及はどうか。

**答** 景況感そのものについてはある種の浮揚効果を感じている経営者が多いのではないかと。他方でハローワークの求人募集賃金を見ると、前年との比較で職種を問わず平均値として増加していない。新規雇用への意欲はあるものの、賃金増加には至っていない。全般的には三本の矢による金融緩和・財政政策により一定の効果はあるものの、リーマンショック以前の状況には戻っていない。三条市も、「売れるものづくり・売れるしくみづくり」支援事業、成長産業分野進出支援事業、次世代創造産業プロジェクト事業の3つの柱を基軸に支援のアクセルを踏み続ける。

### 三条の農業と6次産業化の可能性

**問** 農商工連携のために行政が果たすべき役割は何か。

**答** 本市の農業が発展していくためには一層の所得水準向上の取り組みが必要で、価格競争から脱却し、新たな付加価値を加えて市場に打って出ていく農業者に対してより積極的に支援していく。

### 農業問題について

**問** 国が5年後に減反廃止の方向を示した中で、市長は減反廃止に賛成、大規模農家に補助金を限定することに反対と回答していた。来年度減反協力

### 「湯のつ」ネットオーナーの経営について

**問** 利用者は低迷で、レストランはくちゅうに対して少な過ぎる。レストランはくちゅうとゴツォ・ラーテの利益割合はどうか。また、自信があるなら利用者アンケートを取るべき。成果は着実に上がっている。また、アンケートはやらない。

### 交通安全対策について

**問** 死亡事故が多発。三条市、三条警察、三条市交通安全協会の3者の連携はどうか。また、夕暮れどきライト早目の点灯運動の推進運動の成果は上がっているか。ライト早めの点灯は呼び掛けだけでいいか。

**答** 高齢者などに交通安全意識啓発活動を進める。条例化の必要はない。

### 新市建設計画の達成見通しについて

**問** 新市建設計画は、平成26年度に計画期間の最終年度を迎える。将来都市像を実現するための7つの基本目標に基づく施策大綱の達成見込み、主要事業の完了の見通しはどうか。

**答** 全99事業のうち平成26年度末までに74事業が完了する見込みである。残事業については、一日も早く完成する

**問** 金は半減となり、5年後に廃止となる。作付け条件の悪い中山間地農業は、立ち行かなくなるのではないかと。需給バランスによって価格が決定されている。供給サイドだけでコントロールは難しいと思ひ、減反見直しは時代の要請と考え賛意を表した。補助金をどう組み合わせるかだと思ふ。国に働きかける場面も出てくるのではないかと考えている。



どうなる農業

### 新一般廃棄物最終処分場について

**問** 下田地区の桑切、笹岡、中野原に10万平方メートルの用地を確保して整備する計画が示された。地権者、地域の同意を得ることが前提と思う。どの程度の範囲まで説明会を開く予定なのか。

**答** 指摘の通りと思っている。関係する自治会に随時説明会を開いている。われわれの思いを受け止めていただくためにも、何度でも、どこへでも説明

### 都市計画道路の見直しについて

**問** 新保裏館線の完成および田島曲淵線未着工区間の見直しはどうか。

**答** よう着実に事業推進を図っていく。三条市の行う事業は全て着手済みだが、遅れている事業がある。県の行う事業でも遅れている事業があり、中には未着手の事業もある。計画期間終了時において完了しない主要事業の位置付けはどうなるのか。

**答** 県事業についても事業着手に向けて要望していく。計画期間終了後の残事業は、これまで通りの歩みで着実に事業推進していく。

**問** 計画期間終了時には、新市建設計画と合併の総括を行うべきと思うがどう考えているのか。

**答** 総括は合併後10年という期を捉え、来年度終期を迎える三条市総合計画の総括を行う中で同趣旨の総括を行っていきたい。

### 校外学習スクールバス事故の検証について

**問** 9月議会では「警察署の捜査が継続中、原因はその結果により判明すると考えている」との答弁だったが、その後事故の原因は確定したのか。

**答** 警察署では、運転手の不注意が原因で、その背景には道を間違えて動揺したことがあるとし、自動車運転過失傷害の疑いで書類送検したとのこと。

# 常任委員会審査レポート

各委員会に付託された議案等について、議会最終日に委員長が審査経過と結果を報告します。



来年度の取り組み等を勘案し、第一中学校区、大島中学校区、栄中学校区を選んだこととした。



教育費について、三条市総合体育館の女子トイレの改修工事期間は11月27日から12月25日までで、元旦マラソンには利用できるようにしたいとのことでした。



繰越明許費について、吉ヶ平周辺整備事業は降雪により年度内に工事の完了ができないため、26年度に建築工事を行い、27年の雪解け後にオープンさせたいとのことでした。

していくことが大切と考えている。

## 栄インター周辺開発の適期は今！

製造業振興策を引き続き強化する一方、他の産業振興策も積極的に展開すべきだ。ネット販売の急成長に伴い、物流業が飛躍的に伸びている。アマゾンをはじめ大手が拠点施設の全国展開を急いでいる。栄スマートインターは関越、北陸両自動車道の接続点に近く、周囲には広大な農地が広がっている。大規模物流施設に最適な場所であり、開発を急ぐべきだ。DENAは新潟市にカスタマーサポートセンターを設置した。視野狭窄にならず、新しいビジネスモデルなどを三条に呼び込む努力が必要だが、どう考えるか。

より意欲的に新しい産業を取り込んでいくためにも対外的な活動が必要と思っている。栄インター周辺に関しては具体的な話があれば判断する。種探しに意欲的に取り組んでいきたい。

## 新潟空港への新幹線乗り入れ促進を

上越新幹線の新潟空港乗り入れ促進を強く訴えるべきだが、どう考えるか。

校舎修繕  
森町小・荒沢小統合に向け  
総務文教常任委員会 森山 昭 委員長

議第1号三条市職員の給与に関する条例の一部改正について、新採用職員の採用に影響を及ぼさないよう再任用制度の在り方を検討した上で、期限付任用職員相当職の給料を付け加えさせていた。多くは、言い換えれば定年退職で再任用される人の多くは期限付任用職員と同じ仕事をしていた。多くは、言い換えれば定年退職で再任用されていた。多くは、言い換えれば定年退職で再任用されていた。多くは、言い換えれば定年退職で再任用されていた。

議第15号平成25年度三条市一般会計補正予算では、勤奨退職について、年齢構成のバランス等を考え組織の維持向上を図っていくため、今回実施したとのことでした。

次に、小中一貫教育推進事業について、文部科学省委託事業で小中一貫教育の効果を検査評価するため教職員、児童生徒、保護者の約7000人を対象にアンケート調査を実施したい。また、当事業の重点協力校として小中一貫教育の進め方やこれまでの取り組み等を勘案し、第一中学校区、大島中学校区、栄中学校区を選んだこととした。

## 外資による山林買収防止と水資源の保全について

県からの説明と市の対応はどうか。

## 中山間地と限界集落について

労働力不足、高齢化などで農地、山林の荒廃が進む中山間地の振興と限界集落の対応はどうか。

社会福祉協議会と連携して生活維持を図り、辺地総合計画もあり有効な対策に取り組んでいきたい。

## 人口増対策について

人口増加プロジェクトチームを立ち上げてはどうか。いい湯らていに足湯の設置はどうか。

一体的、面的な観光戦略を構築し、足湯は検討していきたい。

## 冬場の安全対策について

降雪期を迎え登下校の安全対策はどうか。学校構内の消雪パイプの点検状況はどうか。

中学校は冬場の自転車禁止など安全対策の徹底を指導している。消雪パイプは試運転やノズルの調節などの点検をしている。

## 元旦マラソンについて

コース整備、トイレ、駐車場の確保はどうか。

スタート前に天候、道路状況を確認している。トイレは総合体育館と文化センターに。駐車場は28カ所700台を確保している。



今日からがんばる元旦マラソン

## 南小学校の跡地利用

跡地に市立保育所として存続させていく。風南保育所の移転を検討しているとのことだが、特徴ある保育所の計画はあるのか。

築41年経過した現在の風南保育所を旧南幼稚園園舎の部分に移転を検討しているところ。風南保育所を含め公立保育所の果たすべき役割は、市

## ピッカピカに☆総合体育館の女子トイレ

市民福祉常任委員会 野崎正志 委員長

議第2号三条市営住宅条例の一部改正について、優先入居の対象となる証明は本人の申し立てだけでは難しいため、女性相談や配偶者暴力相談支援センター、警察、裁判所の保護命令などを捉えながら判断していきたいとのことでした。

議第7号三条市木の森斎苑の指定管理者の指定について、利用者のアンケート調査により改善してほしいようなものは極力対応している、よりよい施設運営を実施することとした。

議第12号三条市リージョンセンターの指定管理者の指定について、当該団体は自主的事業の展開が難しいこと、収支の状況で支出が少し上回っていたため管理運営状況評価が低かったが、今回の応募時には自主的な事業の提案などがあつたことからお願いすることとした。

議第15号平成25年度三条市一般会計補正予算の民生費について、生活保護費の償還金が生じた理由は現在の生活保護状況は今まで微増傾向だったものが少し減ってきていることから、国に報告した見込みよりも少なかったためとのことでした。

## テレビ放映 八十里越物語プロジェクト

経済建設常任委員会 武石栄二 委員長

議第3号勤労者福祉共済条例について、死亡弔慰金を減額したのは、あくまでも弔意を示すというところで、給付と掛け金のバランスや他市との均衡を勘案した結果であるとのことでした。

議第8号から議第11号の各指定管理者の指定のうち鍛冶道場について、新人育成事業として燕三条工場の祭典に参加したり研修を行っているが、今後も鍛冶集団と連絡を密にして後継者育成に取り組んでいきたいとのことでした。

農業体験交流センターサンファームについては、施設設置目的に合った利用増加を期待できる具体的な提案があつたため、今回指定管理者を変更した。また、指定管理者内での責任の所在については、出資割合によって分担することとした。

議第15号平成25年度三条市一般会計補正予算の商工費、八十里越物語プロジェクトについて、八十里越の起点となる下田地域へ足を運んでいただくきっかけとすることを目的としているため、各企業にも協賛の依頼をしているが、三条市としては総事業費930万円のうち100万円を協賛することとした。

繰越明許費について、吉ヶ平周辺整備事業は降雪により年度内に工事の完了ができないため、26年度に建築工事を行い、27年の雪解け後にオープンさせたいとのことでした。

が進めていく「年中児」発達参観や幼児期の発達支援教育など、三条市の幼児教育全般の推進をけん引していくことである。

## 農産物加工施設の老朽化

地域にあつては大切なみそ作りの施設が老朽化している。農産物加工施設の代替施設をどのように考えているか。

来年度は市で運営。施設についてどのような方針でいくか、荒沢小学校跡地の活用も含めていろいろな可能性を排除しないで検討していきたい。



老朽化した農産物加工施設

## がん検診の受診率向上へ

がん検診の受診率アップのための個別受診勧奨を推進してはどうか。

無料受診クーポン券の配布により、わずかでありますが受診率が向上している。現在、クーポン券の未利用者に対して個別受診勧奨を検討している。

# 行政視察報告

## 総務文教常任委員会

11月6日～8日

森山 昭、笹川信子、梶 勉、阿部銀次郎、西川哲司、島田伸子、杉井 旬、小林 誠

### 連携・共通理解のもとで推進 ○学校給食のアレルギー対策について (栃木県足利市)

足利市では、食物アレルギーの適切な推進のため、平成24年2月に「足利市学校給食食物アレルギー対応マニュアル」を作成。保護者、主治医、学校医等とともに連携を図り、教職員全員が食物アレルギーに関する知識と共通理解のもと、児童生徒に必要な配慮に努めており、実際の対応については医学的な指導・助言を受けながら適切に行えるよう学校給食食物アレルギー相談医を設置していました。

### 独自の教職員研修を実施

○教育センターを活用した教職員研修について(栃木県宇都宮市)  
宇都宮市教育センターでは、学校教育を取り巻くさまざまな課題や教育的ニーズに対応するため、相談、研修、情報教育、調査研究の4つの機能が役

割を果たすことで、教職員、児童生徒、保護者が生き生きと輝けるよう支援しています。また、教職員に対し、資質能力の育成を図るため、ライフステージに応じた資質能力を育成する基本研修や専門研修のほか、教員マイスター制度や授業実践力養成サポート事業など独自の研修を行っていました。

### 市有財産を一元管理

○公共施設の活用(ファシリティマネジメント推進事業)について(千葉県県佐倉市)  
佐倉市では、市有財産情報の一元化されたデータの不在、施設の老朽化、厳しい財政状況などが抱える諸課題を解決するため、ファシリティマネジメントという経営管理手法を取り入れ、資産管理経営室を設置しています。市有財産の一元管理を行いコストの最小化や施設効用の最大化を図り、庁舎内壁面や庁用車への広告掲載、市有財

産に設置する自動販売機の一般競争入札、学校のプール授業の民間プールの活用などの取り組みを行っていました。

### まとめ

食物アレルギー対応については、対応児童生徒の多少による学校間での温度差が生じないように関係者への意識啓発が必要です。また、どんなに対応を詳細に検討しても児童生徒が最後に判断をして口にするので、エビペンの使用を含め事故事例から学ぶ必要があると感じました。

## 市民福祉常任委員会

11月6日～8日

野崎正志、岡田竜一、土田俊人、熊倉 均、鶴巻俊樹、名古屋豊、山田富義、武藤元美

### みんなの健康づくりを強化

○自殺予防対策について(静岡県富士市)

平成18年からこころの健康づくりに本格的に取り組む、19年度からは県の産業都市におけるうつ自殺予防対策モデル事業に連携協力し、また21年度からは地域自殺対策緊急強化事業をスタートさせた中で、富士市自殺対策庁内連絡会を組織して関係課と連携協力し、うつ自殺予防の推進を図っていました。こうした努力によってか、富士

### 日照時間日本一を生かす

○新エネルギー政策について(静岡県浜松市)  
太陽光発電導入日本一を目指し、地元金融機関と協力してエネルギーの地産地消や自給率向上等に寄与する太陽光発電システムの導入・拡大に向けた事業を展開し、住宅用太陽光発電シス



宇都宮市教育センター

### まとめ

今回の視察で一番印象的だった浜松市では、市民や事業者等の太陽光発電設備設置に係る総合的な支援の総合窓口としてソーラーセンターを開設していることに驚きました。また、津波対策として、避難所等の防災拠点に太陽光発電や蓄電池付きLED誘導灯を設置していました。三条市も市有地の有効利用などで新エネルギー政策の取り組みを実施する時期に来ているのではないかと考えさせられました。

### 基幹病院と開業医の連携がカギ

○市立四日市病院救命救急センターについて(三重県四日市市)

平成15年4月に救急センターを開設し、21年2月には救命救急センターの指定を受けて、脳卒中や心筋梗塞など生命の危機にひんした重篤な患者の受け入れを行っており、24年からは身体状態や症状の程度により患者の診察順を判断する院内トリアージを開始。また、地域医療機関との連携(病診連携)を図るために病院ロビーに相談センター(サルビア)を設置。開業医の予約や退院後回復期のサポート、セカンドオピニオンなど「つなぎ役」を果たしていました。



浜松・浜名湖太陽光発電所

## 経済建設常任委員会

11月12日～14日

武石栄二、藤田博史、吉田進一郎、下村喜作、佐藤和雄、高坂登志郎、横山一雄、佐藤宗司

### 「食」と「農」を核とした産業の価値創造を

○食農産業クラスター推進事業について(愛知県豊橋市)

活力ある地域社会を構築するため、産業分野の新たな付加価値を創造することが重要だとし、新たな製品、販路、地域ブランドを創出していました。また、平成19年に食農産業クラスター推進事業協議会を立ち上げてから5年間で33事業を実施。農林水産省などの補助金を活用して効果的に事業を推進していました。

### 歴史的資産や今あるものを生かしたまちづくり

○市街地活性化事業(空き家、空き店舗対策)について(愛知県犬山市)  
歩いて暮らせるまち、歩いて巡るまちをコンセプトに「城下町新生計画」を作成し、空き家や空き店舗を活用した旧市街地の活性化に取り組んでいます。平成15年にはまちと一緒に成長していく組織体として、朝市や駐車場の運営管理、店舗改修補助等の援助を行う犬山まちづくり株式会社が設立され、市は電線類の地中化や道路美装化を行っていました。

### 防災拠点・一時避難所を整備

○広尾防災公園について(千葉県市川市)  
地区における市民1人当たりの都市公園の面積が少なく、災害時における避難場所の面積も不足しているとして、大規模工場跡地を利用し、平常時はレクリエーションの場として、災害



市川市の広尾防災公園にて



旧市街地の活性化を進める犬山市の城下町のまち並み

# 議会日誌

## 10月

- 1日 茨城県守谷市議会視察来条
- 2日 大分県宇佐市議会視察来条
- 3日 議会運営委員会
- 4日 議会報編集委員会
- 7日 市民福祉常任委員協議会  
北海道登別市議会視察来条
- 8日 自由クラブ行政視察 ～10日  
(福岡県春日市、広島県江田島市、広島県廿日市市)  
新しい風行政視察 ～10日  
(鹿児島県南九州市、鹿児島県鹿児島市、佐賀県武雄市)  
清流行政視察 ～10日  
(高知県高知市、愛媛県今治市、愛媛県松山市)
- 11日 議会報編集委員会
- 15日 新潟県女性議員の会視察来条  
東京都稲城市議会視察来条
- 16日 議会報編集委員会  
埼玉県日高市議会視察来条
- 17日 熊本県大津町議会視察来条
- 18日 東京都日野市議会視察来条
- 22日 新政クラブ行政視察 ～24日  
(大分県別府市、福岡県筑紫野市、佐賀県唐津市)  
大阪府守口市議会視察来条
- 23日 神奈川県大和市議会視察来条
- 24日 埼玉県羽生市議会視察来条
- 25日 東京都北区議会視察来条
- 27日 自治体財政研究会[新しい風]  
～28日(東京都)
- 28日 岩手県紫波町議会視察来条
- 30日 千葉県習志野市議会視察来条
- 31日 北海道北広島市議会視察来条

## 11月

- 1日 全員協議会  
議会運営委員会
- 5日 静岡県伊豆の国市議会視察来条
- 6日 総務文教常任委員会行政視察  
～8日(栃木県足利市、栃木県宇都宮市、千葉県佐倉市)  
市民福祉常任委員会行政視察  
～8日(静岡県富士市、静岡県浜松市、三重県四日市市)  
岐阜県瑞浪市議会視察来条
- 7日 埼玉県上里町議会視察来条
- 8日 大阪府高槻市議会視察来条
- 11日 北海道空知町村議会議長会視察来条
- 12日 経済建設常任委員会行政視察  
～14日(愛知県豊橋市、愛知県犬山市、千葉県市川市)  
京都府京丹後市議会視察来条
- 14日 市民福祉常任委員協議会
- 15日 静岡県沼津市議会視察来条
- 18日 自由クラブ行政視察 ～19日  
(山梨県富士吉田市、長野県上田市)
- 20日 富山県富山市議会視察来条
- 22日 茨城県ひたちなか市議会視察来条
- 26日 各派代表者会議  
議案概要説明会  
議会運営委員会

## 12月

- 2日 議会運営委員会
- 3日 本会議[提案説明]  
全員協議会  
市民福祉常任委員協議会
- 4日 本会議[大綱質疑～委員会付託、一般質問]
- 5日 本会議[一般質問]
- 6日 本会議[一般質問]
- 9日 本会議[一般質問]  
議会報編集委員会
- 10日 市民福祉常任委員会  
市民福祉常任委員協議会
- 11日 経済建設常任委員会  
経済建設常任委員協議会
- 12日 総務文教常任委員会  
総務文教常任委員協議会
- 16日 各派代表者会議  
議会運営委員会
- 17日 本会議[委員長報告～採決]
- 19日 小中一貫教育等調査特別委員会

## 3月定例会日程

- 3日(月) 本会議 施政方針演説、提案説明
- 5日(水) 本会議 大綱質疑～委員会付託
- 6日(木) 本会議 一般質問
- 7日(金) 本会議 一般質問
- 10日(月) 本会議 一般質問
- 11日(火) 本会議 一般質問
- 12日(水) 市民福祉常任委員会
- 13日(木) 市民福祉常任委員会
- 14日(金) 経済建設常任委員会
- 17日(月) 経済建設常任委員会
- 18日(火) 総務文教常任委員会
- 19日(水) 総務文教常任委員会
- 25日(火) 本会議 委員長報告～採決

### 【議会報編集委員会】

委員長 島田伸子  
副委員長 武藤元美  
佐藤和雄 名古屋豊 佐藤宗司 笹川信子

発行/三条市議会  
編集/議会報編集委員会  
責任者/議長 熊倉 均

三条市議会事務局  
電話:0256-34-5511(代)内線347 Fax:0256-33-8861  
http://www.city.sanjo.niigata.jp/  
E-mail:gikaij@city.sanjo.niigata.jp



白鳥の郷公園にて

### 編集後記

明けましておめでとうございます。

数年ぶりに雪から解放された年末、年始であった。新年のあいさつでも明るさが表われ穏やかな正月を過ごした。特に、下田地域では格別な思いに違いない。今日本および世界的に報道されている寒波は、まだ冬の始まりの私たちの生活に不安が残る。新沼謙治の津軽恋女の曲に「津軽には七つの雪が降るとか」の歌い出しがある。三条市内から最上流部下田地域までの32キロ間、この雪の変化を1日で体感できる。白鳥の郷と結び付け、克雪から冬の観光へとと思う1日である。